

委員長 それでは時間、13時ちょっと前ですけれども、休憩を解いて再開をします。
(12時59分)

それでは決算審査のですね、3番目、民生費、衛生費、ページでですね、88ページから125ページまでを一括で行いますので、よろしく願いをいたします。

それでは、質疑のある方、挙手でお願いします。

南雲委員 89ページ…ごめんなさい、違いました。103ページの下の段ですね。学童保育運営事業というのがありますけれども、学童で、今使っているのがヘルメットじゃなくて防災頭巾なんですね。それで、やっぱり富士山のハザードマップとかできまして、今、災害が非常に多いので、できれば学童の子たちにも防災頭巾ではなくてヘルメットを用意していただけたらと思うんですけれども、それについてはいかがでしょうか。

委員長 1点だけでよろしいですか。

南雲委員 はい、いいです。

委員長 103ページ、学童保育の関係。お願いします。

子育て健康課長補佐 南雲議員から質問のありました学童保育の防災頭巾ではなくてヘルメットということなんですけれども、防災頭巾につきましては、基本的に保護者が必要なものとしてそろえていただいているものになっております。必要なものとして今そろえていただくのは、今防災頭巾という名称でそろえていただいておりますので、ちょっと今後検討した中で、防災頭巾もしくはヘルメットとするか、ヘルメットにするかというところは検討していきたいかと思っております。

南雲委員 やはりとても災害に対しては、大人も一緒ですけれども、子供たちも同じようなヘルメットを着用したほうがより安全ということで、よろしく御検討をお願いいたします。

委員長 回答いいですか。

南雲委員 はい、いいです。

委員長 民生費、衛生費、ほかに質疑のある方は。

平野委員 93ページの上のほう、リモートコミュニケーション環境推進助成金についてお尋ねします。一応これ、民生費、福祉課の管轄で出ているところかなと思うんですが、実際のこれを、助成を申し込まれた方の件数。それから、例えば前の休校期間、最後にオンラインの学習が成立したんですが、そのときには家庭のWi-Fiがなくてお貸ししたというのがあったと思うんですが、例えばそういった御家庭対象にも、福祉課だけれども、これは申請認められていたのかなという、そこもちょっと教えてください。何か福祉課で出ているという目的が、何か遠方の介護者がどうのこうのみたいなところが何か最初説明があったと思うので。

福祉課長 それでは、平野議員のほうの御質問にお答えをさせていただきます。民生費で持たせていただきましたリモートコミュニケーション環境推進助成金につきましては、オンライン環境…オンライン環境の構築を目的として、令和2年度につきましては、ウェブカメラ、タブレット、パソコン、スマートフォンのそういったコミュニケーションツールを購入した際に、その3万円を上限にして補助する事業でございました。その中で、件数といたしましては124世帯。1世帯につき1件でございますので、124件の申請がございまして、内訳といたしましては、パソコンが36台、タブレットが23台、スマホが64台、ウェブカメラが1台というような形になってございます。昨年度、初年度ということもありまして、少し要綱を作った際に、スマホをですね、可にしてみましたんですけども、実際に運用をしてみたときにですね、スマホの買い替えに利用された方もちょっといらっしゃったというのがありまして、そういったのは反省点だったかなというふうに思っております。Wi-Fiにつきましては、特にうちのほうは機器の補助ということで補助をさせていただきました。最後の遠方の家族とコミュニケーションというのは、コミュニケーションロボットのほうでございます。コミュニケーションロボット、高齢者の方が御自宅でお住まいになっているときに、遠方の家族とコミュニケーションを取るための環境整備という側面で実施をさせていただいた、これ、リモートコミュニケーションとはまた別の事業でございます。以上でござい

ます。

平野委員 分かりました。そうすると、Wi-Fiに関しては、この対象外であったということですね。私の勘違いで、遠方の介護者のことはことは関係ないと。このオンラインの…リモートコミュニケーションの別に条件の中に、介護とかそういうことは関係ないということでしたね。

それでしたら、やはり確かにね、スマホまで可にしちゃうとちょっとというのは私もそれは思いますけれども、やっぱりちょっとこのWi-Fiに関しては、ここに加えていただくとよりよいのではないかなというふうに思いますが、どうでしょうか。

福祉課長 私どものほうで考えたときには、機器と通信環境というところで切り分けをさせていただいて、いわゆるイニシャルコストの部分を補填しようと。ランニングコストについては、各自の負担。いわゆるランニングコストですから、日常生活における水道料であるとか、ガス代であるとか、電気料であるとか、そういうものと同様のものだというような整理で、今回は環境整備というところで主眼に置いて事業をスタートさせていただいたところがございます。今後、Wi-Fiについてどうするかというのはちょっと検討していかないといけないかなと思います。ただし、イニシャルコストではなくランニングコストというところで、なかなか行政のほうで補助するのは難しいのかなというふうにも考えているところがございます。以上でございます。

平野委員 それは分かりました。Wi-Fiに使う機器はハードでイニシャルコストに認められれば、あと通信はもう本当に自分でお願いねという分け方もできるのかなと思うので、ぜひ前向きにお願いいたします。要望で。

委員長 よろしいですか。ほかに。

齋藤委員 123ページのごみの処理の件ですけど、町民のおうち時間が多分増えてきたんじゃないかと思うんですけど、その辺のごみの例年よりも増え方とか、その辺のことは今どうなっていますか。

委員長 1件でいいですか。

齋藤委員 1件でいいです。

環 境 係 長 ただいま齋藤議員の御質問にお答えいたします。家にいる時間が増えても、ごみの量がどうなっているかというところなんですけど、コロナ以前で言いますと、全体的な量としては減少傾向にございました。昨年度、コロナが発生してですね、またごみの分別もですね、啓発している中で、燃やすごみにつきましては前年度比で減少しておりますが、テイクアウト商品の利用とかが増えたことが原因だと思うんですけども、プラごみですとか、ペットボトルについては増加傾向にございます。そうですね、トータルで考えますと、やはり家にいる時間が増えているということもございまして、収集量は若干の増加でございます。

委 員 長 若干とあって、もう少し何か具体的な、何%とかね、何トンとかですね、そういったものが分かれば。

齋 藤 委 員 増えているのは分かります。SDGsを推奨する当町としてはですね、分別の仕方の品目ですか。たしか開成町は何か結構多く分別されてるのかなと思うんですけど。その辺の分別の対応というのは、このまま…今ちょっと現状が幾つかちょっと私は分からないんですけども、もうちょっと細かくやっていくのか、その辺のことはどうなっているんですか。先ほどプラスチックが増えていきますということなので。その辺はどのようなことですかね。

環 境 係 長 ごみの分別の種類についてでございますけれども、ただいま1市5町でごみの広域化の検討を進めている中で、分別の種類についても検討を進めております。松田町で言いますと、今ほかの町で分類されている剪定枝ですとか、あとは南足柄市さんですと製品プラスチックを分別されてるんですけども、その辺が燃やすごみに入っている状況でございます。ごみの減量等検討している中で、その辺の分別方法につきましても、1市5町で統一するような方向で、もう少し細分化されるような方向で今検討をしております。以上です。

齋 藤 委 員 分かりました。あと、ただごみをごみ箱に捨てるとか、そういうことをしてくれればいいんですけど、よく大水が出たときには河川にはやたらとごみが出てきて、ペットボトルがたくさん浮いているんですよ。そういったそのごみを捨てない、河川に捨てないとか、山も不法投棄とかあると思うんです

けど。そういった啓発等をしていかないといけないかと思うんですけど、その辺のお考えはどうなんでしょう。

環 境 係 長 今、齋藤議員から御質問が出たとおりですね、主にプラごみが多いんですけども、河川ですとか、あと最近言われているのはマイクロプラスチックということで海に流れて、クジラが引き上げられたら胃の中に大量のプラスチックごみが入っていたとか、そういうニュースもございまして、今2市8町でプラごみゼロ宣言をしようという検討も進めております。そういったものと併せながら、そういったポイ捨て防止とか啓発を行っていきたいと考えております。以上です。

齋 藤 委 員 いいです。よろしくお願いします。

委 員 長 ほかに。民生費、衛生費よろしいですか。

(「はい」の声あり)

それではですね、民生費、衛生費についてのもので、審査を終了します。

次はですね、農林水産業費、商工費、土木費ですので、職員の入替えを…あと災害復旧費までありますので、職員の入替えをお願いをいたします。

(職員入替え)